

高田高校安塚分校だより



直峰通信

令和3年4月20日(火)発行

深い緑の、なだらかな稜線の上に流れる白い雲、その下には小黒川沿いの桜がもう一本の川の流れるように、安塚の町を貫いています。

目にも耳にも空気にも、町のあちこちに春らしさを感じつつ、分校も新年度を迎えました。4月は学年が一つ上がる時期、それに合わせて各自が少しずつ背伸びをして、自分をワンランク上へ上げる一年にしよう、と、始業式に校長先生はじめ各担当の教諭から生徒に向け話がありました。その際、校長先生が引用した言葉が以下の一節です。

雪道を歩くさいのコツ

- 一、歩幅を小さくすること
- 二、上体を揺すぶらないこと
- 三、手をポケットから出して、手を振って休まずに歩くこと

難事に取り組むコツと同じではあるまいか。

むのたけじ 詞集『たいまつ』より



春の遠足より

まもなく山の木々は若芽を出し、この里は新緑の鮮やかな色に囲まれるでしょう。木々も少しずつ成長していくように、私たちも気負わず、しかししっかり前を見て、たゆまず進んでいきたいものです。

今年度も昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響で、さまざまな活動が制約を受けておりますが、工夫を凝らしながら日々の学習や行事を行って参ります。この1年の御協力と御支援をよろしくお願いいたします。

分校第7回入学式 4月7日(水)

来賓と保護者、そして教員が見守る中、10名の新入生が入学式に臨みました。

加藤校長は式辞として、一人ひとりの個性に応じて進められる安塚分校の指導支援の特徴とともに、新入生の心にとどめておいてほしい3つの言葉「努力・挑戦・感謝」を伝えました。この言葉を心の軸として、地域や社会で活躍できる人材になってほしい、そのための基礎を身につけてほしいとの期待がこめられました。

来賓として参加いただいた外立PTA会長様からは祝辞として、この町を彩るブナの木がもつ特徴をあげながら、新入生がブナの木のように周りを支え、また苦しいときには周りに頼りながら、たくましく柔軟に3年間を過ごしてほしいと言葉をかけていただきました。

そして、新入生代表が入学の決意を述べました。「1日1日を大切にしていきたい」…教員もしっかり支えていきたいと思わせる立派な宣誓でした。



遠足 4月15日(木)

文字通り「三寒四温」のこの季節、晴れ間を縫って、安塚フラワーロードを歩きました。大雪の影響があっただけ、今年の桜はおとなしく咲いている印象がありますが、生徒も教員も残雪が残る菱ヶ岳を眺めつつ、風光明媚な安塚の春を体感しました。直峰城址を臨む丘の上でクラスごとに写真も撮り、記念の一枚となりました。また来年訪れて、同じように写真を撮りたいと思わせる好天でした。小一時間、歩きながらお互いの親睦も深めることができたようです。



個性もそれぞれ十人十色の3年生



みな仲の良い多士済々の2年生



新生活が始まり興味津々の1年生

新任式 4月7日(水)

本年度始の異動で3名の教員が転入となりました。川合副校長は安塚分校設立当時、教頭として赴任しており、3年ぶりの安塚分校勤務です。今後ともよろしく願いいたします。

川合克彦副校長(長岡大手高等学校から)
佐藤弘実教諭(理科・十日町高等学校から)
田中恒夫教諭(英語・高田南城高等学校から)

4月・5月行事予定

4/22(木) 携帯電話安全講話
4/26(月) PTA役員会
4/27(火) クラブ集会
5/6(木) 進路ガイダンス
5/11(火) 歯科検診 12(水) 生徒総会
17(月) 眼科検診
5/18(火)～20(木) 中間考査



1年生エンカウンター授業の様子

また今年度もこの「直峰通信」を通じて、安塚分校での教育活動の様子を地域の方々はじめ皆様にお伝えする予定です。御意見等ございましたら下記担当までお知らせください。よろしく願いいたします。

新潟県立高田高等学校安塚分校

〔担当:教頭 沢田貴博〕

〒942-0411 上越市安塚区下方129番地

電話 025-592-2306 FAX 025-592-3541

HP <http://www.takada-h.nein.ed.jp/>

mail school@tadakayszk-h.nein.ed.jp